

---

# 防蟻剤入り接着剤 AT-02

## 取扱説明書

---

2022/6/07 改訂版

**デュポン・スタイロ株式会社**

防蟻剤入接着剤 AT-02(以降接着剤 AT-02 と記す)は防蟻断熱材スタイロフォーム<sup>TM</sup>AT(以降、スタイロフォームAT と記す)を使用した基礎外側断熱工法の断熱材目地の防蟻措置やコンクリート打ち継ぎ部等の防蟻措置に用いる接着剤です。

## 1. 特徴

- スタイロフォーム AT と同様の防蟻剤を配合しています。
- 1液無溶剤タイプで、硬化時の収縮膨張が殆どありません。
- 接着性能が高く、耐久性・耐水性・耐衝撃性・耐アルカリ性が良好です。
- トルエン及びフタル酸エステル系可塑剤を使用していません。

## 2. 用途

- スタイロフォーム AT の目地等の防蟻処理、コンクリート打ち継ぎ部及びコンクリートと貫通配管継目部の防蟻措置  
 ※ポリエチレン、ポリプロピレンへの密着性が悪いので、これらの材料との接着には使用できません。但し、ポリエチレン、ポリプロピレン製の配管とコンクリートなどとの隙間に充填した接着剤AT-02は硬化時の収縮がほとんどなく、そのまま弾性硬化物を形成するので、白蟻の通過を抑制します。

## 3. 一般性状

項目	防蟻剤入り接着剤『AT-02』 (変性シリコン系接着剤)
外観	白色ペースト
不揮発分	98%以上
粘度	300Pa・s(20°C、10rpm)
比重	1.57
その他	F☆☆☆☆(JAIA 010470)

※ 数値は代表値であり規格値ではありません。

## 4. 荷姿

内容量	出荷単位
330ml/本	10本/ケース

## 5. 標準使用条件

- **下地調整:** 塗布面のゴミ、異物、油脂分、サビ、水分、離型剤など接着を阻害する汚れをウエス、サンドペーパー等で除去下さい。また、コンクリート面に塗布する場合は、コンクリートが乾燥していることを確認し、ほこり等を除去してから塗布してください。
- **作業雰囲気:** 降雨・降雪時やそれらが予想される場合の作業は避けてください。また、接着剤、被着材及び作業雰囲気温度は2°C以上で実施ください。
- **塗布:** 接着剤 AT-02 の塗布はコーキングガンにより行います。カートリッジ本体突出口のアルミ防湿膜を破ってから、カートリッジにノズルを取付け、ノズル先端部を、目的に応じ押出径が5~15mm程度になるようにカットしてください。
- **養生:** 初期硬化 12 時間。完全硬化には 7 日間(20°C)必要です。温度や湿度が低いと硬化が遅くなります。接着材が硬化するまでは接着面に触れたり力加わらないようにして下さい。

## 6. 性能

### ● 平面引張試験

項目	常態※1	耐熱性※2	耐水性※3
接着強さ (N/cm <sup>2</sup> )	48	32	53
破断位置	B20/BF80	BF100	B30/BF70

#### 1. 試験条件

- 1) 被着体: スタイロフォーム AT/フレキシブルボード
- 2) 養生条件: 室温で7日養生後、試験環境に放置
- 3) 引張速度: 2mm/min

#### 2. 養生条件

- ※ 1. 常態: 室内環境で試験(20~25°C)
- ※ 2. 60±3°Cの雰囲気中に24時間静置し、その温度で試験
- ※ 3. 水中(室温)に7日間浸し、室温環境で濡れたまま試験

#### 3. 破断位置: Bは『スタイロフォーム AT』の厚い材破、BFは表層材破

### ● 硬化フィルム引張試験結果

項目	常態	耐熱
フィルム強さ(N/cm <sup>2</sup> )	1.1×10 <sup>2</sup>	1.5×10 <sup>2</sup>
伸び率(%)	150	170

#### 1. 試験方法: フィルム引張試験

2. 引張速度: 200mm/min
3. フィルム厚さ: 0.25mm
4. ダンベル: JIS ダンベル 2号
5. 常態: 室内環境で試験を行う (20~25°C)
6. 耐熱: 養生後、80±3°Cの雰囲気中に1週間静置し、その温度で試験。

## 7. 注意事項

本製品は、指定可燃物です。

### <作業前の確認>

1. 取り扱い作業に際して、MSDS で注意事項の確認をしてください。
2. 接着剤は使用条件、被着材により適性が有るので、必ず現場での接着性能確認を行った上で、使用してください。
3. 始めて使用する材料を接着する場合は、あらかじめ接着適性を確認ください。

### <取扱い>

1. 記載した用途以外の目的には使用しないでください。
2. 容器は丁寧に扱い、内容物を変形、破損しないようにしてください。
3. 内容物がこぼれた場合は速やかに改修してください。
4. 衣類や皮膚に接着材が付着した場合は、速やかにその汚れを落としてください。
5. 取扱い作業場所は換気を良くしてください。
6. 火気を近づけないようにしてください。
7. 使用する際は眼鏡、手袋、マスクを着用して使用してください。
8. 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。

### <応急措置>

1. SDS に従ってください。
2. 誤って眼に入った場合は多量の水で洗い流し、速やかに医師の処置を受けてください。
3. 誤って皮膚に付着した場合、速やか清浄な布で拭いたあと、石鹼と多量の水で洗い流してください。かゆみや炎症が残った場合は、医師の診断を受けてください。

### <保管>

1. 本接着剤は消防法指定可燃物、可燃性個体に該当するので地方条例に従って保管ください。また、保管場所は直射日光の当たらない常温、常湿(5~35°C、45~85%RH)環境としてください。
2. 接着剤は小児の手の届かないよう注意ください。
3. 本接着剤は、空気中の水分及び被着材量の表面水分と反応して硬化します。一度開封した接着剤はすぐに使い切るようにしてください。
4. 一定の場所を定めて保管し、他の物と混同しないように注意ください。
5. 品質保証期限は製造日より12ヶ月です。製造日はロット番号で確認できます。

ロット番号の表示方法

表示例: P 1 11 24 01



1. 記載事項は標準的な作業条件での試験結果です。実際の作業条件について何ら保証するものではありません。また、本接着剤の仕様や本説明書の内容は予告無しに変更することがあります。

2022/06/07 改訂

デュポン™、デュポンオーバルマーク、並びに™、SM、及び®表示のあるすべての標章は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。